

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」 (一億総活躍社会実現対話・仙台 アンケート結果)

項目	意見・要望	年齢	性別
教育	子どもを育てることに重点をおいてほしい。人間を育てることが将来活躍社会だ。特に小学校～中学校まで。働いている人には短時間での労働を。	60代	女性
	教育課程において、実学(長期インターンシップ)(社会体験)が必要なことがよくわかったが、国語(言語)能力、文脈理解の能力という、現在あまり高く評価されていない文系の学問が軽んじられることのないようにしてほしい。	60代	女性
	子どもの仕事体験、介護職の充実、保育士の充実、学費の低価格化への推進…をぜひお願いします。	40代	女性
	安心安全の保障されない中で、いきいきと生きていけないと思う。本当に大丈夫?と不安に思う日本。生きていくためのベースである生活は、どんどん苦しくなっているのでは…格差大きい。医療・介護による費用負担を下げるポイントは、セルフマネジメントかと思う。自立セルフマネジメント、自己責任判断か。モラルは大切。教育に力を入れてほしい。	60代	女性
	教育・人の育成に予算を使ってほしい。マイナンバーを使って、一定以下の所得と資産(特に資産が重要)の人々に対する補助を充実させてほしい。資産課税を導入してほしい。ゆとりある社会は人を雇うこと。公務員からやってほしい。(公務員数が少ない。公務員の正規・非正規の差が大きい。→公務員から非正規雇用労働者の待遇改善を行うべき)特に女性が活躍するには、女性がたくさん働くことが必要。	50代	男性
	せつかくの機会であるので、時間をもっと要する企画にしてほしかった。母子家庭が多くなっているのは、安易に結婚、子どもを持ち、大事な年齢の時、夫婦の大した原因でもないのに簡単に離婚する。子どもは母親が引き取り夫に会わせない。結婚の重要性を考えるべき。自分勝手な我儘を我慢することが大切ではないか?原点は教育だと思う。	70代以上	女性
	・子どもが一人立ちするまでのお金を貯めてから子どもを産むには難しい。なぜなら女性が子どもが産みにくい身体になっている。 ・様々な意見があったが、それを助ける機械等々を考えるのは大学の工学部だと思う。大学への支援をしてほしい。	10代	男性
	・介護保険の永續の為に、報酬単価のUPを、予算UP、国家予算配分の検討が必要。今は生かさず殺さずのレベル、若者が給料UPを期待できる状況にならないと介護者がいなくなるし、サービスの質の低下がおきる。 ・国公立の学費・教材費など無料。保育園、幼稚園、小中高、大学まで。奨学金の金額UP、利息なし、ワーキングプアの対策は重要である。	40代	男性
高齢者に手厚くすれば、多くの人に賛同してもらえるというからそこに目がいくが、若者に夢や希望が見られる日本を創るという視点から取り組んでほしい。非正規が増えれば、どんな希望があっても結婚や育児は難しくなっていく。「手に職をつける」ことの事実ができるような学校がよくなるようにしてほしい。(普通科志向の現状を打破するために)	20代	男性	
働き方	ワークバランスにおいて、長時間労働をやめることが一番大事だと感じる。ただし職種によって、多様性があるので、今後各業界の中で強力に進めるべきである。	40代	男性
	男性、女性関係なく働いていける環境づくりを、国民全体でできるようにサポートをお願いします。	20代	女性
	アルバイト先の正社員(月200時間近く働くこともある)、パート・アルバイト(月10日しか休めない。学業に専念したい時もある)共に、雇用条件が悪いように感じる。東証一部上場企業と言っても、ブラック企業と呼ばれる会社が多いと感じる。将来、安心して働けるように制度を整えていただけると嬉しい。	20代	女性
	ワークライフバランスの定着を考えている。当社でも進めているが、ゆっくりだ。色々な方、多くの考え方、立場の異なる方が働きやすく効率の良い働き方が必要だ。民間・私・行政も含めて多様な働き方を通して、公私ともに豊かな人生・社会を目指したいと思う。	60代	男性
	女性の時短勤務については、資生堂の新しい提案、土日勤務で対応するという制度に1票です。部下や仲間に仕事をあずけて、時短勤務は事務職にしに適用しない。保育園の充実が急務だ。	50代	女性
	同一労働同一賃金について、現在、法の改正手続き中と伺っているが、賃金の格差が認められるケースはどのような場合か?①経験年数②資格の有無③雇用期間④転職勤務の可否⑤学歴等、又公務員の場合も適用はあるのか?非正規が約4割を占めている現状において、適格な運用を望む。	60代	男性
	今後社会を担っていく世代として、男女の労働環境の問題については、早急に対処していただきたい。	20代	男性
	一つでも二つでも、これまで実現が困難なもの(同一労働同一賃金)が少しでも前に進むようになる事を期待したい。	40代	男性

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・仙台 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
働き方	働く為の制度は、多く制定してくれているが、社会、企業が導入する体制や環境作りが追いついていない現状であることも考えていただきたい。	30代	男性
	子どもを育てることに重点をおいてほしい。人間を育てることが将来活躍社会だ。特に小学校～中学校まで。働いている人には短時間での労働を。【再掲】	60代	女性
最低賃金	宮城県を含む東北は、最低賃金の影響が強い。ぜひこれを上げる努力を求め。一律1,000円を目指す位のがきを期待する。	60代	男性
再チャレンジ	失敗や失策しても、再度社会にチャレンジできる制度を充実してほしい。	50代	男性
	日本の社会は社会に出る際、一度躓くとその後の就業に差が出る。再チャレンジ可能な社会になればいい。専門的なスキルアップを図れば、認められる社会構造になればいい。	40代	男性
	失業など、一度レールから外れてしまった人間がもう一度再起するのは、この日本ではとても難しいものだと考えている。そのため、若いうちに技術を身に付け、多くの情報を得ることができる土台をつくり、戦力になる人材を増やしていくことで誰もが活躍する社会を目指していくことができるのではないかと考える。	20代	男性
	現日本の豊かさは、戦後日本人の努力の形だと思うが、これを続けていくために、現在経済を支えている（主な世代30～50代）の気力を奮うような制度や仕組みはなるべくさけてほしいなと思った。又、高齢化した新卒での就職チャンスを持てなった世代（35～42才くらい）への対応を求め。大きな能力と、人数を抱えていると思う。	40代	女性
女性の活躍	子どもを持って保育施設に入れることがとても難しいことがわかった。ぜひ女性の活躍できる社会を早急に作ってほしい。	30代	女性
	教育・人の育成に予算を使ってほしい。マイナンバーを使って、一定以下の所得と資産（特に資産が重要）の人々に対する補助を充実させてほしい。資産課税を導入してほしい。ゆとりある社会は人を雇うこと。公務員からやってほしい。（公務員数が少ない。公務員の正規・非正規の差が大きい。→公務員から非正規雇用労働者の待遇改善を行うべき）特に女性が活躍するには、女性がたくさん働くことが必要。【再掲】	50代	男性
	経済力向上のためには、女性と高齢者の活用が最優先。	20代	女性
	一億総活躍社会の実現には大賛成だ。その一環として、女性活躍推進法が成立したが、趣旨についてはとても納得でき、ぜひ進めていただきたいことではあるが、法対応のために人員が必要になり、時間外が増える、負担が増えるということも理解いただきたい。従業員数2000名以上いる中で、具体的な数値を把握することはなかなか困難で、かつこれまで通りの仕事をしながら、その仕事が増えてしまったので、負担のみが増えている。そういった部分をサポートしてくれたらいいと思う。	20代	女性
	将来の日本を担うべき子どもの命が軽んじられている。女性も出産後の社会復帰が妨げられている。老老介護問題も真剣に取り組むべきである。掛け声だけで終わってはならない。	60代	男性
	女性の結婚・妊娠により、安定した雇用が望めない現状に対して、政府からの更なる働きかけをお願いする。中小企業では、まだまだ産休、育休へ理解が少なく感じる。	20代	男性
	300人以上就労する企業に対する管理職に占める女性の比率については、それぞれの業種、女性活躍の発展度合により差異がある。まずは、結果の平等ではなく、機会の平等を求めたいと考える。	60代	男性
保育	子育てだったら、この施設というように案内サポートを実施していただきたい。	50代	男性
	看護師の夜勤をする人が年々減っていく中、夜間保育を充実させるため、保育士の処遇改善をぜひお願いしたい。保育士がおらず夜間保育ができない。	50代	女性
	・ 保育園に入園できず、引越しを検討している友人がいる。その友人は職場に復帰を望んでいるが、引越すことも現実的でなく、引越したからと言っても、入園が保障されるわけでもない。このような問題を解決して欲しいと思う。 ・ 第二の矢を成功させることで、社会保障も充実し、個人の成長を実感できると思う。高齢者への医療費抑制を図り、次世代に結び付けられる施策が望ましい。	30代	男性
	景気が高くなると給与が安い介護職、保育職の仕事が狭まるといった二律背反的な要素があり、待遇改善等の措置が必要と考える。	60代	男性
	介護・保育の仕事の専門性に見合う処置にスポットをあてた施策を希望する。介護報酬のアップ、保育の委託料のアップ。	40代	男性

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・仙台 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
保育	私が共感したのは、保育士として活躍されている狩野さんのお話だ。現に保育士資格を目指し、勉強をしている。このごろニュースでも多く取り上げられた保育士としての価値、待遇をもっとよくしていただきたいと感じた。保育の現場に行くと、多くの保育士が給料が低いのに重労働と口を揃えておっしゃってます。よろしくをお願いします。	20代	女性
	山本様、最上様がおっしゃっていたように、メディアの影響はとても大きいと思う。テレビやドラマ、SNS、私達若者はメディアの影響をとてもらう。悪いイメージではなく、介護をしたい、保育士になりたい、子どもたちが夢を持つような情報、イメージをメディアから発信して頂きたいと思う。	20代	女性
	強い経済、生産性のアップという第一の矢は、民間会社の基本的な方針ですが、第二の矢(子育て)、第三の矢(社会保障)も民間サイトで表向きは謳っている施策と思うが、実際は第一は本気も、第二・第三は建前が現状。内閣サイドも、この様な民間の現状と同様の発想(方針)を言ったところで、実現には民間のバックアップが絶対条件の善なので、介護、子育て従事者の待遇改善を政策的に進めて頂きたい。	60代	男性
	介護についてイメージの話があったが、社会保障費の抑制の件でも将来性のないイメージで報道されていると思う。介護・保育等について、処遇改善では生産性の向上と対になると思う。どうでしょう？	40代	男性
	今回の対話を知ったのは、FBだった。直前に知ったにも関わらず参加できて光栄だ。しかしその反面、広報があまりにされていなかったのかとも思う。もっと多くの国民に、この対話内容そして「一億総活躍社会」実現への取組を知ってもらわなければならない。3人の子育て、両親は近くにおらず、看護師としてフルタイム勤務、夜勤もしている。我が家は、夫も夜勤や泊まりが多く、保育所の他にもNPOの子育て支援、仙台のすくすくサポート、乳児院等、手当たり次第の育児サポートを使用している。保育所1件だけでは、子育てサポートが足りない現実も知ってほしいと思った。	30代	女性
	女性の時短勤務については、資生堂の新しい提案、土日勤務で対応するという制度に1票です。部下や仲間には仕事をあずけて、時短勤務は事務職にししか適用しない。保育園の充実が急務だ。【再掲】	50代	女性
子どもの仕事体験、介護職の充実、保育士の充実、学費の低価格化への推進…をぜひお願いします。【再掲】	40代	女性	
子育て	プランだけではなく、いかに実現するか成果を見せてほしい。政策実現のための平等な赤字国債か。子育て支援、介護は重要なテーマだと思う。	40代	男性
	少子化ストップに向けて、より具体的で子どもを育てやすい国造りをお願いします。フランスも参考にしてみたら。	60代	男性
	H28年2月23日一部改正を読んだ。この中に震災のことが一言も書かれていない。総活躍できない状況にある国民、特に被災地のことをきちんと改善を、そして復興をお願いします。被災地での復興が何より望むところだ。短期集中が終わり、中期5年間、長期の後5年間と大きく予算が削られてきた。私たち労働者は一律0.02%が(全労働者)拠出している。この負担は、どのように使われているのか。そしていつまで続くのか。子育てや介護現場の処理改善は必須だ。「子育て・介護」を社会化することが活躍の場に繋がると思う。「三世同居」→子育てや介護を家族の事に委ねるといことになり、女性たちが家庭に縛られるイメージ、女性を家へ戻れというイメージになる。社会化のために施策を充実してほしい。このことが活躍(男性・女性)への一歩となる。	70代以上	女性
少子化	日本は格差社会がどんどん進んでいる。そして人口減少。ますます大きくなっていくと思う。公務員の人件費を2割カットして、少子高齢化対策に当ててもらいたいとおもう。今すぐやるべきだ。やらなければ日本という国はなくなる。	60代	男性
子供の貧困	もっと討議する時間があるとよかった。平等というけれども、子どもの貧困は早く解消してあげた方がいい。	40代	女性
障害・難病	知的や身体障害者などの社会的弱者の仕事や生活の充実。	40代	男性
	障害者雇用を進めるには偏見・差別を払しょくすることが必要。一般の方が気持ちや考えをかえていただかなければメンタルでやられてしまう。	20代	女性
	難病はいくつ種類があり、予後が悪いと言われる病気の方々が希望のもてる社会にして欲しい。先がない方々も大勢いる。	40代	男性
高齢者	私は64才。まだまだ元気です。子育てでも孫のような子ども達を見て、若い人に働けるような社会であつたらいいと思う。	60代	男性
	高齢者も生きがいを持って活躍できる社会システムを作る必要がある。	70代以上	男性
	具体化してそれぞれの問題をマニュアル化してほしい。ガイドライン、職業別、大きな流れをつくってほしい。ヒーローを作る。老人を大切にしてほしい。老人の力を借りてほしい。一歩踏み出してほしい。スケジュールを作って進んでほしい。	70代以上	男性

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・仙台 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
高齢者	安倍内閣の1人舞台であり、今後何年で可能になるのか、疑問であり、あまり期待をしていない。内閣が変われば実現不可能である。今後は財政の健全化が必要であり、高齢者優遇をお願いしたい。	70代以上	男性
	①シルバー（60才以上）は、月80H（週20H）の制限をはずしてほしい。 ②65才以上で2割が仕事をしたいとの話だが、仕事がないのが現実。若者とシルバーとの仕事配分が必要と感じる。	70代以上	男性
	老人社会になるので、働ける老人の方に社会に戻ってきて、少しの時間でもいいので、頑張ってもらいたい。	50代	男性
	活躍する場が乏しい。活躍できる職場の拡充が要かと思う。→もっとその職場の案内が要だと思う。	60代	男性
	60才以上の自分の立場として、資料にある60才以上で65才以上で働きたい人が70%に対して、実際に20%とのことで、このギャップを出来るだけ少ない状況にしてほしい。	60代	男性
	経済力向上のためには、女性と高齢者の活用が最優先。【再掲】	20代	女性
介護	介護現場の処遇改善、お願いします。	40代	女性
	まず第一に介護職員の待遇UP必要。	無回答	男性
	・「包摂」が読めない。一億全員とは言わないが、8千万人位が読めるサブタイトルをつけてほしい。 ・介護職のステータスを上げる為、所得税、住民税を非課税にしてほしい。 ・国会議員は年に一度、介護施設に1泊することを義務化。 ・一般的に仕事の質を上げる為には、コストがかかる。介護の質を上げる為といってしめつけが厳しくなっているが、給与を増やさなければ、質の向上の実現は難しい。	40代	男性
	介護の人権確保や待遇改善について、現在の状態では確保について難しいと考えている。そのことで、外国人の方が介護をするという話を聞くが、それではさらに日本人の職員不足は止まらなないと考える。そのため、潜在的な介護職の募集をはじめ、介護の充実も図って頂きたい。	無回答	無回答
	本日のようなテーマでは、参加人数が少なすぎる。もっと広い会場でもっと多くの参加者を集めるべきである。仙台を含めて、全国4ヶ所で行うそうだが、何かデモンストレーションの感じがある。私の息子も介護職だが、給与が低くかわいそうだ。	70代以上	男性
	介護に関わる方のお話（2人）がラストだったこともあり印象に残った。“介護イメージの改善”（3Kなど）のためには、やはり高収入であると思う。高収入に相当する仕事であると思う。	60代	女性
	まったなしで「介護」について政府が中心で対応すべきだ。親がもらう年金では、老人ホームに入れることが不可能なので、毎月多額の仕送りが必要である。つまり目の前の事で頭の中はいっぱいである。無駄な公共施設、公共工事を見直し、100%老人ホームに親を入居でき、一億総活躍社会の実現可能な社会にしてほしい。一億総活躍社会の実現には、まず足元の問題を真っ先に解決すべきである。	30代	男性
	大臣がいなくても対話会のようなものを実施してもらいたい。私はデイサービス（リハビリ塾）を起業したが、ギリギリでやっている。昨年の介護保険改定で収入も減り、何とかしてほしいし、真っ先に首を絞めるのは年金事務所だったことを分かってください。	40代	男性
	登壇者と大臣との意見のすり合わせのようなものを感じた。限られた時間の中ではやむを得ないと思うが、認知症の人を介護した「介護離職者」としての立場から「看取り後の就労支援」として、10万円を限界としての就労活動支援費を貸与するという事をお考えいただきたくお願いします。	60代	女性
	子どもの仕事体験、介護職の充実、保育士の充実、学費の低価格化への推進…をぜひお願いします。【再掲】	40代	女性
山本様、最上様がおっしゃっていたように、メディアの影響はとても大きいと思う。テレビやドラマ、SNS、私達若者はメディアの影響をとてもらう。悪いイメージではなく、介護をしたい、保育士になりたい、子どもたちが夢を持つような情報、イメージをメディアから発信して頂きたいと思う。【再掲】	20代	女性	

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・仙台 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
介護	強い経済、生産性のアップという第一の矢は、民間会社の基本的な方針ですが、第二の矢(子育て)、第三の矢(社会保障)も民間サイトで表向きは謳っている施策と思うが、実際は第一は本気も、第二・第三は建前が現状。内閣サイドも、この様な民間の現状と同様の発想(方針)を言ったところで、実現には民間のバックアップが絶対条件の筈なので、介護、子育て従事者の待遇改善を政策的に進めて頂きたい。【再掲】	60代	男性
	・介護保険の永續の為に、報酬単価のUPを、予算UP、国家予算配分の検討が必要。今は生かさず殺さずのレベル、若者が給料UPを期待できる状況にならないと介護者がいなくなるし、サービスの質の低下がおきる。 ・国公立の学費・教材費など無料。保育園、幼稚園、小中高、大学まで。奨学金の金額UP、利息なし、ワーキングプアの対策は重要である。【再掲】	40代	男性
	介護についてイメージの話があったが、社会保障費の抑制の件でも将来性のないイメージで報道されていると思う。介護・保育等について、処遇改善では生産性の向上と遂になると思う。どうでしょう？【再掲】	40代	男性
	景気が高くなると給与が安い介護職、保育職の仕事が狭まるといった二律背反的な要素があり、待遇改善等の措置が必要と考える。【再掲】	60代	男性
	介護・保育の仕事の専門性に見合う処置にスポットをあてた施策を希望する。介護報酬のアップ、保育の委託料のアップ。【再掲】	40代	男性
	プランだけではなく、いかに実現するか成果を見せてほしい。政策実現のための平等な赤字国債か。子育て支援、介護は重要なテーマだと思う。【再掲】	40代	男性
	将来の日本を担うべき子どもの命が軽んじられている。女性も出産後の社会復帰が妨げられている。老老介護問題も真剣に取り組むべきである。掛け声だけで終わってはならない。【再掲】	60代	男性
H28年2月23日一部改正を読んだ。この中に震災のことが一言も書かれていない。総活躍できない状況にある国民、特に被災地のことをきちんと改善を、そして復興をお願いします。被災地での復興が何より望むところだ。短期集中が終わり、中期5年間、長期の後5年間と大きく予算が削られてきた。私たち労働者は一律0.02%が(全労働者)抛出している。この負担は、どのように使われているのか。そしていつまで続くのか。子育てや介護現場の処理改善は必須だ。「子育て・介護」を社会化することが活躍の場に繋がると思う。「三世同居」→子育てや介護を家族の事に委ねるといことになり、女性たちが家庭に縛られるイメージ、女性を家へ戻れというイメージになる。社会化のために施策を充実してほしい。このことが活躍(男性・女性)への一歩となる。【再掲】	70代以上	女性	
地方創生	地方創生対策をベターな進め方にしてほしい。	70代以上	男性
その他	被災地に対する施策を考えてほしい。	40代	男性
	それぞれの人が、それぞれの立場で活躍できる環境を作ることと同時に、その仕事に「楽しみ」「やりがい」を持って活躍できるということが、活躍しているという実感に繋がっていくと思う。	50代	男性
	エゴマの栽培から販売までの6次化が重要です。その中で、栽培時の収穫が問題となっています。栽培者は75才と高齢ですので、機械化が必要です。その開発費用の助成は可能でしょうか？	50代	男性
	この内容を(各別の)地域に広め、知らせるような出張講座のようなものを企画してほしい。本日参加できた人はごく一部の国民にしすぎないので、更なる周知をお願いします。	50代	女性
	一億総活躍に対して、どれだけの体制が整っているのかが、曖昧であると感じている。また、これが完成するまでのスパンなどがわからない。人道的な観点で福祉によっているが、“海外に習う”という形ではなく、日本が少子高齢化社会の打開を世界で牽引していく存在ということを出していくべきである。そのためには、経済を第一に(アベノミクスファーストステージ)さらにかかっていく必要があるのではと感じた。またさまざまなファクターとの連携がいかなるものか知りたい。	20代	男性
	一億総活躍社会実現のための要望。退職後東京より福島県白河市に、20年余自宅の一部(30坪)を開放し、家庭文庫を運営しているが、目前に控えている厚い壁には阻まれ、苦境にたたされている。打開策をお願いしたい。地域の壁が厚い。想像以上に。	70代以上	女性
	「意見交換の場をもった、もてた」だけで、終わるのではなく、もちろん出た意見を尊重して対応して行ってほしいと思う。時間が短すぎたと思う。せめてあと30分ほしかった。	50代	女性
	最近、いろいろな調査が多く感じられる。しかし型どおりで、一般の生活に活かさせていないように思う。	60代	女性

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・仙台 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
その他	実現できるようにしてほしいですね。	60代	男性
	口腔ケア（認知症治る）を保険点数に導入。歯科医師会の役員は何もしてない。16k m以上、往診禁止の撤廃。	60代	男性
	現場でのリアルな発言で面白かったし、幅広い発言だった。企業でマニュアルを作っていただきたい。誇りを持って働ける社会。	50代	男性
	本日の発せられた意見は、多少なりの反映される制度施策の整備を望む。ただのパフォーマンスで終了しないようにしてほしい。（国民はしっかりとみている。）参加者の中で、一眼レフカメラで堂々と撮影している方がいた。禁止なのでは？会場スタッフはきちんと監視してほしい。	50代	女性
	今後もこのような機会をさらに造っていただければと思う。	50代	女性
	法整備が必要。	50代	女性
	消費税増税で充当する社会保障。効果的な使い方を要望する。	40代	男性
	「少子高齢化」は「少子問題」「高齢化対策」と分けるべき。高齢化対策は、行政の仕事でやっていけるが、少子問題は社会的背景だけでなく、本質的には生殖能力に関わる。文明と野性、大きな問題だと思う。	60代	男性
	こうした対話の機会を今後も多く作ってほしい。	40代	男性
	企業の利益を個人に分配しないと良い回りにならない。	60代	男性
	最後の質問者が言っていた通り、本日の対話では、就労に関する事の比率が大きかったように思う。家庭などについての話も、もう少し充実していればよかった。	無回答	無回答
	現実と政府の施策には、隔たりがあり、大臣の返答は建前論のみで魅力がない。つまんだ返事がなくむなし。	70代以上	女性
	三本の矢の順番をみると、第一の矢は経済に関する内容。「一億総活躍社会」とは、ひとりひとりの経済的な生産性を高める対策であると感じる。経済的な生産活動に貢献できない（貢献が少ない）人が社会から排斥されるのでは…と不安に思った。生産性では測定できない幸福感も反映していただきたい。また、それぞれの矢には、複数の対策が並列で書かれている。優先順位があるのでは、と思う。エビデンスに基づいて進めていただきたい。	40代	女性
	テクノロジー犯罪を知ってください。今、大変なことになっています。	30代	男性
	一億総活躍と聞いて、1人の人が一億人の人々が活躍できる社会を考えるのかと思っていたが、専門学生、大学生、社会人などの人々が幅広い分野からのご意見を聞いて、意見交換することが重要なのだと感じた。	20代	男性
	より具体的な内容で早期にまとめ実行に移してほしいと思う。「保育園落ちた。日本死ね。」リアルな声だと思う。時間はないと思う。	50代	男性
	一回のみではなく、次回の継続を望む。	60代	男性
	色々な仕事、制約があるが、どういう職場についても“頭脳労働”“知恵”を活かして効率性を求めることが重要だと思った。	30代	男性
	企業はどうしても利益を考えてしまう。政治は違ってほしいと願う。	40代	男性
	発言者の顔がスクリーンに出た方が話が見える。	70代以上	男性
実現に向けた目標を立て、実施しようとするのは良いと思うが、現実的な事をもっと掘り下げて見てもらいたいと思う。半分以上の人々は苦勞しているから、働く環境や生活環境の中でもがいているのが現実だ。	60代	男性	
税金をできるだけ使わないで、各施策を実施し、一億総活躍社会の実現を図ってほしい。	50代	男性	
今回は都市部の開催でしたが、人口減少している地域での開催もぜひ計画して行ってほしい。	60代	女性	

「一億総活躍社会の実現に向けたご意見・ご要望」（一億総活躍社会実現対話・仙台 アンケート結果）

項目	意見・要望	年齢	性別
その他	一億総活躍の目指すものはよく理解できる。ネーミングは賛成。ぜひ実現していただきたい。一億総活躍社会というのは、多様な人生を認める社会の実現なのかということがよく理解できた。	60代	男性
	企業に対する行政指導が必須だと思う。企業規模に応じたコミットメントも必要なのではないかな？	50代	男性
	3本の矢の目標数値を上げているが、具体的にいつまでどう行うの？文言だけなら、誰でも書ける。やはり一億総活躍は総火の玉、総特攻、総玉砕を連想させる。	60代	男性
	少子高齢時代。支える側も良い待遇。国民が平等に利用できる制度。	30代	男性
	正しい職業の情報と適正な処遇を処することで、偏った（楽・稼げる）職業選択が減り、一億総活躍社会の実現が可能であると考えている。	50代	男性
	具体性に欠ける。お題目の羅列に感じる。地に足を着けた施策を優先順位を定めて確実に実行せよ！	60代	男性